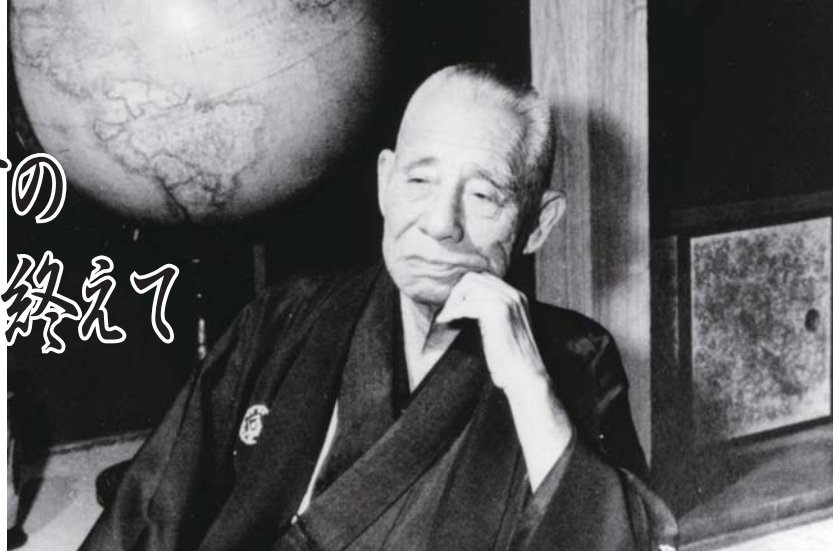


# 第8期鳥羽少年探偵団

## 世界の真珠王・御木本幸吉の調査を終えて



写真提供：ミキモト真珠島

### TOBA 鳥羽少年探偵団

きょうみ しんしん とば いろ  
興味津々鳥羽の色。

人材育成講座「地球塾」の特別講座としてスタートした「鳥羽少年探偵団」。調査や体験学習を通して、鳥羽に関係があり、偉大な業績を残した人物について学びます。

第8期目の今年度は、世界の真珠王・御木本幸吉について調査活動を行いました。

これまで7回にわたり、県外や市内での調査を終えた鳥羽少年探偵団の今期の活動と感想を紹介します。

教育委員会生涯学習課

☎1268

### 鳥羽少年探偵団の一年を振り返って

第8期の鳥羽少年探偵団は、真珠養殖という前代未聞の道へと進み、苦境と波乱を乗り越えて、世界中の人の首を真珠で飾り、人々から「真珠王」と呼ばれた御木本幸吉について調査しました。

7月27日、ミキモト真珠島で行われた結団式では、団員一人ひとりが任命書を受け取り、指令に向けての気持ちを高め、抱負や目標をそれぞれ語りました。

その後、地球塾と合同で行われた第1回学習会では、商

売に関心をもち、商才を発揮していた「幸吉の幼年時代」について学びました。

8月18日、第2回学習会では、豪華客船「飛鳥II」の乗船体験をしました。

団員たちは、明治26年7月11日に幸吉が相島（現ミキモト真珠島）で初めて真珠の養殖に成功したときのことを意味する「5粒の半円真珠」をお土産として用意しました。

船内を見学した団員たちは、その貴重な体験に胸を躍らせていました。

飛鳥IIを降りた後、幸吉の幼年期の手習い体験として、幸吉の言葉「真寿」「智運命」の文字を毛筆で書きました。

9月13日、第3回学習会では、ミキモト真珠島で養殖真珠の仕組みについて学んだ後、志摩市に移動し、横山展望台や天岩戸、多徳島養殖場、真珠養殖の碑など、幸吉にゆかりのある地を見学しました。

10月18日、第4回学習会は、地球塾と合同で行われ、葉っぱでまち中を輝かせている横石知二さんの講演会に参加しました。

### 団員たちの感想

幸吉は、人のためにお金を使うことを惜しまない心優しい人。わたしも社会のために貢献したり、どんな人にも優しくできるようになりたい。

嶋田 恵果

幸吉の人生を学んでいくにつれ、わたしたちの知らない幸吉の姿がだんだんと明らかになっていった。人に信頼されること、人のために努力することの大切さを学んだ。

寺田 扶希

前例のない真珠養殖に挑戦し、成功した幸吉を支えた妻うめが印象に残る。うめがいなければ真円真珠はできなかったのではないかと思う。

竹内 弥生

数々の幸吉語録は、幸吉だからこそ持っている真珠への自信があるから言えることなのだと思います。わたしも幸吉のように、行動力を持って自分の考えに自信を持てるようになれたらと思います。

亀川実可子



御木本幸吉像の前で、メッセージを読みました



みんなで一文字ずつ書きました



二宮尊徳の生家前にある、幸吉について記された石碑



渋沢栄一の図書館「青淵文庫」1階の閲覧室



御木本幸吉のお墓に、今までの調査結果を報告しました



横石さんの講演を真剣に聞く団員たち



志摩市にある真珠養殖の功績をたたえる石碑



高級ホテルのような船内に心躍らせていました

11月7日、第5回学習会は、「御木本幸吉生誕150周年記念事業記念式典」に参加し、ラジオ劇に出演して、幸吉について語り、幸吉へ未来へのメッセージを送りました。

また、書道家の矢部澄翔さんとのコラボレーションでは、幸吉の言葉である「日本中を公園にしたい」を一文字ずつ書きました。

第6回学習会は、11月15日、16日の2日間、幸吉が尊敬していた二宮尊徳と渋沢栄一を訪ねて、県外調査を行いました。

神奈川県小田原市にある二宮尊徳の生家と記念館を訪れ、多くの人たちのために尽くした尊徳について学びました。

尊徳の生家の前には、他人の手に渡っていた土地や建物を元の位置に戻そうと、幸吉が土地を買い受け、寄付をし

たという内容の石碑がありました。土地が寄付された日が、偶然にも団員たちが訪れた日と同じ11月15日だということに、何か運命めいたものを感じていました。

二日目は、東京都北区飛鳥山にある渋沢史料館を訪れました。ここは、栄一の旧宅があった場所で、戦争でその多くが焼失してしまいました。現在も昔のまま残っている建物がいくつかあります。

団員たちは、500もの会社の設立や経営に携わり、社会のために尽くした栄一の功績や、旧宅の敷地の広さや建物の造りなどに、驚きを隠せない様子でした。

彼らを調査したことで、社会のために尽くしてきた幸吉や、彼らを尊敬し手本とした幸吉の志の高さを知ることができました。

第8期鳥羽少年探偵団の最後の学習会は、3月7日(土)に地球塾と合同で行われ、今期の調査報告の発表を行います。くわしくは、今号の広報とば17ページをご覧ください。

**第8回学習会について**

幸吉は、「真珠養殖を発明した人」として有名ですが、団員たちは、さまざまな調査を通じて、「人のために尽くした人」、「思いやりのある人」という一面も学びました。

また、二宮尊徳や渋沢栄一の調査を通じて、幸吉の人柄や考え方を学んだことが、団員たちにも大きな影響を与えたようです。

幸吉や二宮尊徳、渋沢栄一のように、できないかもしれないけれど、わたしにできるやり方で、人のためにできることをしていきたいです。

小久保 葵

多くの人のために尽くしてきた二宮尊徳や渋沢栄一を尊敬していたから、幸吉も人のために尽くしたのだと思う。自分も努力していきたい。

西川 慶佑

鳥羽のことを知っているようで分かっていなかった。初めて知ることがたくさんあった。幸吉や二宮尊徳、渋沢栄一について、調べ尽くしたい。

中村 太信

これから、いろんな人に幸吉のことについて聞かれても、すぐに答えられるような人になりたいです。幸吉のことを調べられて良かったです。

松井 成穂

幸吉は、努力をする人だと思います。半円真珠や真円真珠を作るのには、努力といろんな人の協力が大切だと思いました。

細木 仁美